

公開用

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立榎塚台小学校
校長 藤井 善信

平成30年度 重点目標	
1. 「総合的な学力」の育成 ○算数科を中心に探究的な学びの研究 ○外国語活動の指導と評価 ○家庭学習習慣の定着	
2. 豊かな人権感覚と道徳性の育成 ○人権教育の充実をめざした教育課程編成 ○特別支援コーディネーターを中心とする特別支援委員会の充実 ○「特別の教科 道徳」授業の質的転換	
3. 体力向上と健康的な生活習慣の確立 ○体力向上のための取組の充実 ○食育・保健指導の推進 ○事故の未然防止	
4. 地域を愛する子の育成 ○地域社会との積極的な関わり ○地域に開かれた学校 ○保幼小中一貫教育の推進	

大項目	中項目	具体目標	評価項目 (取組、成果・現状)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	達成状況(年度末)			
							自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	総合的な学力の育成	○算数科を中心に探究的な学びの研究	●課題をつかみ考え抜く授業改善の推進 ・思考過程を整理した構造的なノートづくり	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・十分に取組むことができた。	A	・ノート大賞の取り組みや発表の機会を取り入れた取り組みが良い。各種の取り組みに積極的に取り組んでいるのが良い。
		○外国語活動の指導と評価	・「聞く」「話す」「読む」「書く」の充実	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・充実した外国語活動を行うことができた。	A	・段階に応じた授業を効果的に行っている。
		○家庭学習習慣の定着	・自主学習ノートの充実	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・自主学習が定着しつつある。	A	・今後の取り組みや改善も見守りたい。
豊かな心・健やかな体	豊かな人権感覚と道徳性の育成	○人権教育の充実をめざした教育課程編成	●子どもの自尊感情・自己肯定感の向上 ・あいさつの響き渡る学校 ・いじめや不登校の未然防止	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・アンケートをもとに指導を行い、取組むことができ、堺人権研究大会での分科会発表も行った。	A	・児童のあいさつの習慣は定着しつつある。
		○特別支援コーディネーターを中心とする特別支援委員会の充実	・学校全体で共通理解・支援体制	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・全体での共通理解もできた。	A	・全体での共通理解もできた。
		○「特別の教科 道徳」授業の質的転換	・「考え議論する道徳」の指導と評価	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	B	・ワークシートや教科書を活用した。評価について共通理解をはかった。	B	・今後の取り組みや改善を見守りたい。
	体力向上と健康的な生活習慣の確立	○体力向上のための取組の充実	・体育年間計画に基づく実践 ・スポーツチャレンジ	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・高学年の肥満児童も少なく、充実した取り組みができた。	A	・全体的に向上している。
		○食育・保健指導の推進	●健康・安全・衛生・食育・除去食対応 ・もくもく清掃	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・十分に取組むことができた。	A	・食育便りや保健便りで情報を丁寧に伝えている。
		○事故の未然防止	・転落事故防止や不審者侵入防止 ・体育的活動や行事での事故防止	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・十分に取組むことができた。	A	・台風後の安全確保等、熱心に取り組んでいた。
地域連携	地域を愛する子の育成	○地域社会との積極的な関わり	・地域行事への参加 ・ゲストティーチャー、昔遊び等の交流	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・積極的に行事に参加し、交流も多く充実している。	A	・地域行事にも積極的に参加している。老人会との関わりも多い。
		○地域に開かれた学校	●ホームページや校報による情報発信	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・積極的に取り組めた。	A	・ホームページをこまめに更新し校報も定期的に発行し情報発信が行われている。
		○保幼小中一貫教育の推進	・ワクワク広場 ・三校交流会(小中連携)	・達成状況80%以上でA ・達成状況50%以下でC	・協議 ・アンケート	1月末	A	・十分に取組むことができた。	A	・幼稚園やこども園、幼稚園との交流の機会があるのが良い。

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
全教職員が一丸となって、日々の学習指導や生徒指導等に取り組む、全教員による公開授業を行い授業改善に取り組んだり、堺人権研究大会で発表した自尊感情を高める人権教育の取り組み、ホームページを通しての情報発信や地域交流などについては成果がりましたが、道徳の授業の質的転換については今後の課題として改善に取り組んでいきたいと考えています。保護者や学校関係者評価者の方々からいただいたご意見を活かして、今後もR-PDCAサイクルにもとづきより充実した教育活動を展開していきたいと考えています。	・先生方がクラスや学年の枠を超えて学校全体で子どもたちに関わっていることが良い。 ・アンケートより「学校へ行くのが楽しい」「勉強が良くわかる」の項目が高い数字であることを評価したい。